

# AS4314UT D

## 取扱説明書

### 【保証書付】

#### もくじ

|                      |    |
|----------------------|----|
| 安全にご使用いただくために .....  | 1  |
| 1. ご使用の前に .....      | 5  |
| 特長 .....             | 5  |
| 標準付属品 .....          | 5  |
| スタンドの取り付け .....      | 6  |
| 各部のなまえ .....         | 7  |
| コンピュータとの接続 .....     | 8  |
| コンピュータの設定 .....      | 9  |
| 画面の角度調節 .....        | 9  |
| 2. 操作手順 .....        | 10 |
| 調整メニューの内容 .....      | 11 |
| 画面の調整 .....          | 12 |
| パワーマネジメント機能 .....    | 15 |
| 自己診断表示機能 .....       | 15 |
| 3. 故障かなと思ったら .....   | 16 |
| 4. クリーニング .....      | 17 |
| 5. アフターサービス .....    | 18 |
| 保証書 / 保証期間について ..... | 18 |
| 修理サービス .....         | 18 |
| オプション部品 .....        | 18 |
| リサイクル / 廃棄について ..... | 18 |
| 6. 付録 .....          | 19 |
| 一般仕様 .....           | 19 |
| 対応信号タイミング .....      | 20 |
| 信号入力コネクタのピン配列 .....  | 20 |





**重要**

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みにになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。

## 警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

|   |  |
|---|--|
|  <b>警告</b> | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。                |
|  <b>注意</b> | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

## VCCI (電波障害自主規制)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。

電源コードおよびACアダプタは付属のものを使用すること。

## ENERGY STAR®

当社はENERGY STAR® プログラムの参加事業者として、本製品がENERGY STAR® プログラムの基準に適合していると判断します。

本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。

本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店またはイヤマサポートセンターまでご連絡ください。

乱丁、落丁はお取り替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

## 愛情点検

長年ご使用のモニタの点検を！



ご使用の際  
このようなことは  
ありませんが

電源コードを動かすと、  
電源がONになったりOFFになったりする。  
キャビネットが異常に熱い。  
煙が出たり、こげくさい臭いがする。  
使用中に異常な音や振動などがある。  
その他の異常や故障がある。

ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。  
点検・修理に要する費用などは販売店またはイヤマサービスセンターにご相談ください。

# 安全にご使用いただくために

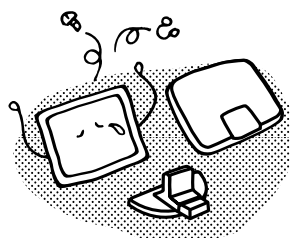
ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

## 警告



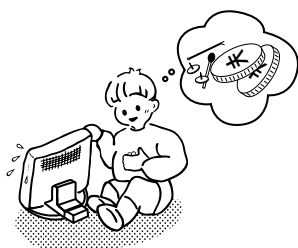
### 万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



### キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は販売店またはイヤマサービスセンターにご依頼ください。

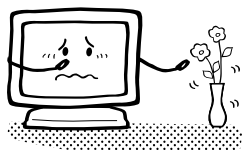


### 異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。



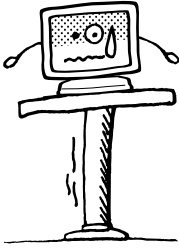
### 花びんやコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。



万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。

## 警告



禁止

### 不安定な場所に置かない

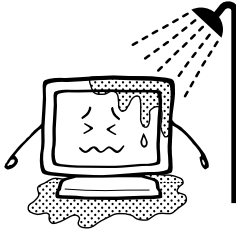
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。



プラグを  
抜く

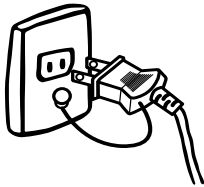
万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での  
使用禁止

### 水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



アースを  
接地する

### 電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。



禁止

### 電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。

コードが傷んだらすぐに販売店またはイヤマサポートセンターに交換をご依頼ください。

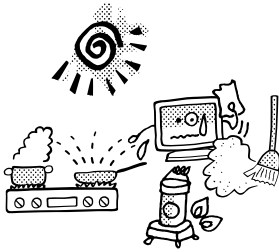


接触禁止

### 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

## ⚠ 注意



禁止

### 置き場所を選ぶ

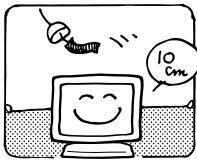
次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く

### 通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × チルトスタンドをはずす。
- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。



禁止

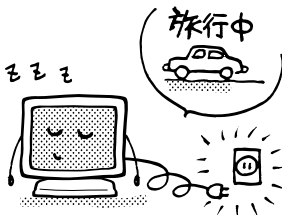
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から10cm以上離して置いてください。



禁止

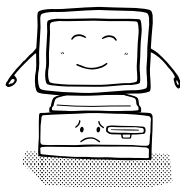
### 移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。



### 旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



### コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

## ⚠ 注意



### プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。



接触禁止

### ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

## 正しくご使用いただくために

### 目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～60cmはなれたくらいが見やすく疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

## 故障ではありません

お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合がありますが、故障ではありません。画面位置を正しく調整してご使用ください。

ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがありますが、故障ではありません。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。

液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがありますが、故障ではありません。

画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。

液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像(焼き付きのような症状)が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されます。

- ・画面の表示パターンを変える。
- ・数時間電源を切っておく。

本製品に使用しているバックライトには寿命があります。

画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用のバックライトユニットに取り替えてください。(ご自分での交換は絶対にしないでください。)

詳しくは販売店またはイヤーマサービスセンターまでお問い合わせください。

# 1. ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。本書の裏表紙には保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

## 特長

43.2センチ(17.0インチ) TFTカラー液晶モニタ

高コントラスト/高輝度パネル採用

最大1280×1024モードをサポート

デジタルスムージング機能搭載

調整の手間を軽減する自動調整機能搭載

プラグ&プレイVESA DDC1/2B対応

Windows® 95/98/2000/Me/XP対応

低電磁波・省電力設計

TCO '99, MPR 適合, パワーマネジメント機能搭載

VESAマウント規格(75mm×75mm)対応

場所をとらないコンパクト設計

## 標準付属品

モニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

電源コード\*

ACアダプタ

スタンド

取扱説明書/保証書(本書)

**補足** \* 日本以外でご使用の方へ

本製品を日本以外の国でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

## スタンドの取り付け

本製品はスタンドを取り付けて使用することを目的に設計されています。必ずスタンドを取り付けてご使用ください。

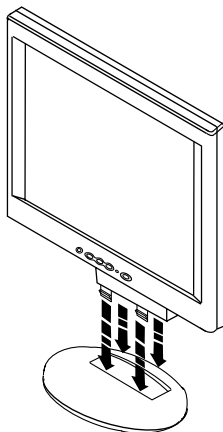
### ⚠️ 注意

スタンドの取り付けは安定した台の上で行ってください。モニタが転倒・落下してけがや故障の原因となります。

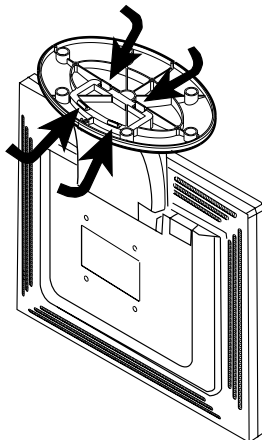
モニタに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

スタンドの取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。

< 取り付け >

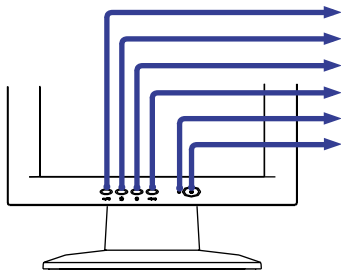


< 取り外し >



## 各部のなまえ

### 前面



#### AUTOボタン（自動調整）/ EXIT

**補足** 水平ポジション,垂直ポジション,フォーカス,クロックの4項目を自動で調整します。

この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。(P.12「画面の調整」参照)  
調整中は画面が一瞬暗くなり、多少時間がかかります。(約5秒)

OSD表示中にこのボタンを押すとOSD表示を消すことができます。

#### ブライトネス調整ボタン / ◀

#### コントラスト調整ボタン / ▶

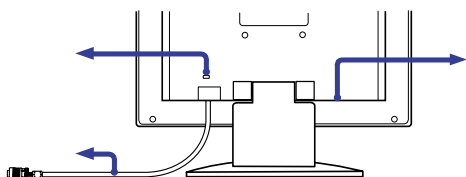
#### MENUボタン

#### 電源インジケータ

**補足** 緑色点灯 : 通常動作時

橙色点灯 : パワーマネジメント時  
水平同期信号、垂直同期信号のどちらか一方、もしくは両方が無くなった場合、パワーマネジメントモードになります。

### 後面



#### 電源スイッチ

#### 盗難防止ロック用ホール

**補足** 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

#### D-SUB信号ケーブル(直付け)

#### ACアダプタ接続コネクタ

## コンピュータとの接続



### 警告

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。



### 注意

信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニターやコンピュータの故障の原因となることがあります。

周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

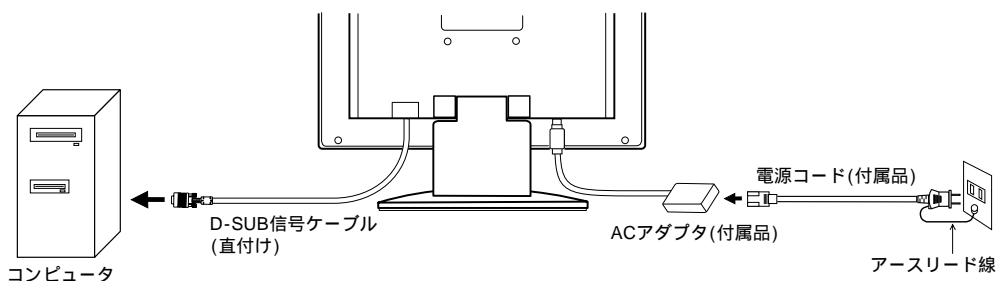
モニターおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。

信号ケーブルをコンピュータに接続します。(P.20「信号入力コネクタのピン配列」参照)

**補足** 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

モニター本体のACアダプタ接続コネクタにACアダプタを接続します。

ACアダプタに電源コードを接続し、電源コードをコンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。



アダプタの品名を青色で記載しています。

| 接続するコンピュータ           | コンピュータ側         | 接続                             |                      |
|----------------------|-----------------|--------------------------------|----------------------|
| AT互換機 (DOS/V)<br>IBM | D-SUB<br>ミニ15ピン | D-SUB信号ケーブル<br>(直付け)           |                      |
| Macintosh*           | D-SUB<br>15ピン   | 変換アダプタMAC<br>パーツNo.T985V003-30 | D-SUB信号ケーブル<br>(直付け) |

**補足** \* Macintoshと接続する場合は専用アダプタあるいはケーブルなどが必要となる場合があります。

## コンピュータの設定

### 信号タイミング

お使いのコンピュータと本製品をはじめて接続する場合は、コンピュータの信号タイミングをVGAに設定してから接続してください。

映ることを確認しながら、本製品がサポートしているお好みの解像度(P.20「対応信号タイミング」参照)に設定してください。

### Windows 95/98/2000/Me/XPプラグ&プレイ対応

本製品はVESA規格のDDC1/2Bに対応しています。DDC1/2B対応のコンピュータと本製品付属の信号ケーブルで接続することにより、Windows 95/98/2000/Me/XP上でプラグ&プレイ機能が動作します。この際、Windows 95/98/2000/Me/XP モニタインフォメーションファイルが必要になる場合がありますので、弊社ホームページのダウンロードサービスをご利用ください。

ホームページアドレス <http://www.iiyama.co.jp>

#### 補足

ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますのでご覧ください。

MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

## 画面の角度調節



### 注意

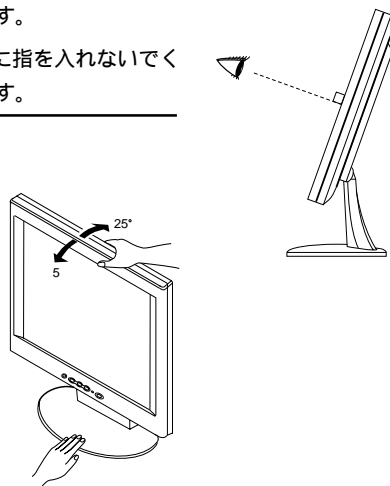
角度調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。

角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。

液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。傾きを調節して、見やすい角度に合わせてご使用ください。

角度調節の際はスタンド部を倒れないよう必ず押さえてください。


調節範囲は、上方向25°、下方向5°です。

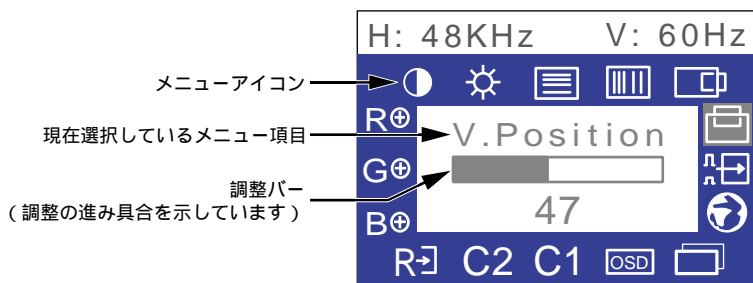


## 2. 操作手順

P.20の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作を行ってください。画面の調整方法および手順については、P.12「画面の調整」を参照してください。

MENUボタンを押すと、画面にメニューが表示されます。

例えば、V.Position (垂直ポジション)を調整したいとき、メニューアイコンを◀/▶ボタンで選択し、MENUボタンを押します。





















選択したアイコン、メニュー項目、調整バーの色が赤色に変わります。◀/▶ボタンでお好みの画面に調整してください。詳しくは、次ページ「調整メニューの内容」をご覧ください。

### 補足

調整中にボタン操作を中止すると、10秒後にオンスクリーン表示が消えます。また、AUTOボタンで即時にオンスクリーン表示を消すことができます。(P.7「AUTOボタン」参照) オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「OFF」しないでください。

画面位置、フォーカス、クロックの調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の調整項目については全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。したがってコントラスト、ブライトネス、カラーなどの調整を行うと、全ての信号タイミングに対して調整内容が変更されます。

## 調整メニューの内容

| メニュー  | 画面の状態 / 調整ボタン  |         | メニュー   | 画面の状態 / 調整ボタン  |                      |             |               |
|---|--|---------|--|--|----------------------|-------------|---------------|
| <br>Contrast<br>(コントラスト調整)<br><small>ダイレクト調整</small>     | 弱すぎる   | ← ▶     | <br>OSD<br>(OSD表示位置)        | 1 2 3 4 5  | ← ▶                  |             |               |
|   | 強すぎる   | ← ◀     |  |   | ← ◀                  |             |               |
| <br>Brightness*1<br>(ブライトネス調整)<br><small>ダイレクト調整</small> | 暗すぎる   | ← ▶     | <br>Focus*2<br>(フォーカス調整)    | 1~5までオンスクリーンの移動位置が設定されています。  |                      |             |               |
|   | 明るすぎる  | ← ◀     |  | <table border="1"> <tr> <td>640×400. 70</td> <td>640×400 @70Hz</td> </tr> <tr> <td>720×400. 70</td> <td>720×400 @70Hz</td> </tr> </table> 補足 垂直周波数が同じ2モードのうち、どちらかを選択します。 |                      | 640×400. 70 | 640×400 @70Hz |
| 640×400. 70   | 640×400 @70Hz  |         |  |  |                      |             |               |
| 720×400. 70   | 720×400 @70Hz  |         |  |  |                      |             |               |
| <br>Clock*2<br>(クロック調整)                                  | 模様、文字がにじんだり<br>ちらついている   | ← ▶     | <br>(DOSモード選択)              | C1   | Color1: 標準ホワイト       |             |               |
|   | 模様、文字がにじんだり<br>ちらついている   | ← ◀     |  | C2   | Color2: やや赤みがかったホワイト |             |               |
| <br>H.Position<br>(水平ポジション調整)                            |  左よっている | ← ▶     | <br>R→<br>Reset<br>(リセット)   | 工場出荷設定に戻します  |                      |             |               |
|   |  右よっている | ← ◀     |  | 補足<br>このリセット操作を行うと、工場プリセットモードに対して調整し直したデータが消去され、工場出荷設定に戻ります。   |                      |             |               |
| <br>V.Position<br>(垂直ポジション調整)                            |  下よっている | ← ▶     | <br>Auto Level<br>(自動レベル調整) | B+   | 弱すぎる                 |             |               |
|   |  上よっている | ← ◀     |  | R.G,B各色のゲインを最大の色階調になるよう自動的に調整します。<br>補足 ビデオカードの組み合わせ、表示解像度、表示パターンにより、画面が暗くなるなど正確に調整できない場合があります。そのような場合は、“リセット”により工場出荷設定に戻してご使用ください。                                      | B+                   | 強すぎる        |               |
| <br>(言語選択)   | English  | 英語表示    | <br>G+<br>Green<br>(緑)    | 弱すぎる   | ← ▶                  |             |               |
|   | Deutsch  | ドイツ語表示  |  | 強すぎる   | ← ◀                  |             |               |
|   | Français   | フランス語表示 |  | 弱すぎる   | ← ▶                  |             |               |
|   | Español  | スペイン語表示 |  | 強すぎる   | ← ◀                  |             |               |
|   | Italian  | イタリア語表示 |  | 弱すぎる   | ← ▶                  |             |               |
| <br>R+<br>Red<br>(赤)                                   |  |         | 強すぎる   | ← ◀  |                      |             |               |

\*1 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、ブライトネスを調整してください。

\*2 調整方法および手順については、P.12「画面の調整」を参照してください。

### ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

コントラスト：メニュー画面を表示していない時にコントラスト調整ボタン/▶を押します。

ブライトネス：メニュー画面を表示していない時にブライトネス調整ボタン/◀を押します。

## 画面の調整

本製品での画面調整とは、お使いのコンピュータシステムに合わせ画面の位置を調整したり、表示される模様や文字のにじみ、ちらつきを最小限に調整することをいいます。CRTモニタのように好みの画面サイズ、位置に調節するものではありません。

本製品に搭載されている液晶パネルは、1280×1024の解像度の時に最高の性能が発揮できるよう設計されています。1280×1024未満の解像度では、自動的に拡大表示モードとなり、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、通常は1280×1024の解像度で使用することをおすすめします。

拡大表示モードでは画面拡大処理の関係上、表示される文字がぼやけたり、線が部分的に太くなります。

コンピュータのディスプレイドライバによっては、画面の位置、周波数の微調整ができるものがありますが、正常に表示できなくなる可能性がありますので、微調整は本製品側の調整機能を使用してください。

調整は、電源を「ON」して30分以上たってから行ってください。

自動調整は解像度や画像のタイミングにより、微調整が必要な場合があります。

DOSプロンプト画面など、画面の一部にしか画像がない場合や背景が暗い場合、自動調整が正常に機能しませんので、手動で調整を行ってください。

本製品には、画面の調整方法としてポジション、フォーカス、クロックを自動で行う方法と、個々の調整を手動で行う方法があります。新しくコンピュータを接続したときや解像度を変更した場合は、まず自動調整を行います。それでも文字のにじみやちらつき、ポジションずれがある場合は手動で微調整を行います。いずれも弊社ホームページ(<http://www.iiyama.co.jp>)にてダウンロードできるTest.bmp(画面調整パターン)を壁紙に登録して調整を行います。

次の手順に従い調整を行ってください。本書では、Windows 95/98/2000/Me/XPを基準に説明しています。

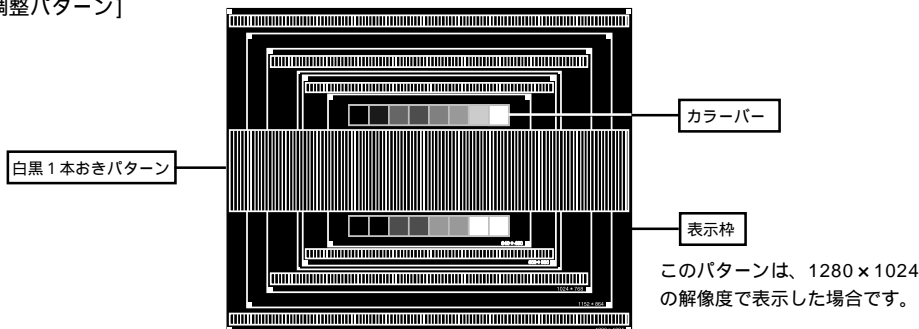
### Test.bmp(画面調整パターン)を壁紙に登録します。

#### 補足

登録方法はお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

Test.bmpは、1280×1024のサイズで作られています。コンピュータの設定で壁紙に登録する際、表示位置を必ず「中央」に設定してください。なお、Microsoft® PLUS! 95/98をご使用の場合は、「壁紙の大きさをスクリーンに合わせて調整する」の設定を解除してください。

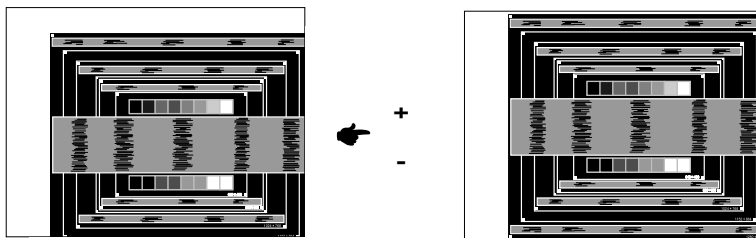
#### [調整パターン]



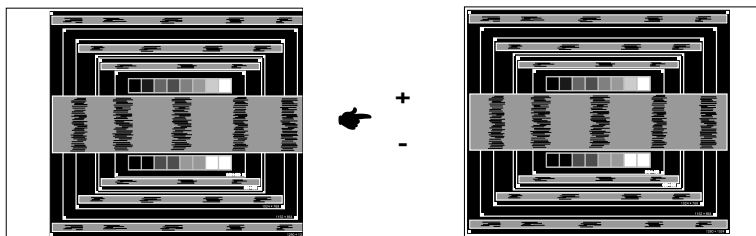
AUTOボタンを押します。(ダイレクト調整)

自動調整を行っても画面のちらつきやにじみ、ポジションずれがある場合は、以下の手順で手動調整を行います。

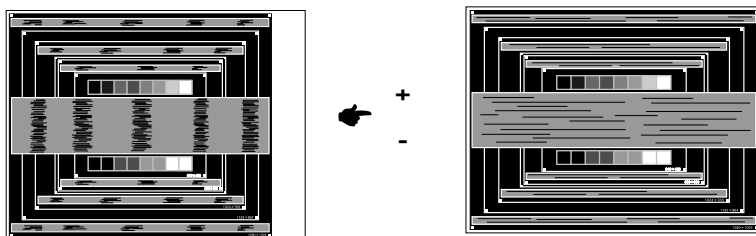
調整メニューのV.Positionにて調整パターン(壁紙)の上下枠が表示領域に入るよう調整します。



1) 調整メニューのH.Positionにて調整パターンの左枠が表示領域の左端にくるよう調整します。



2) 調整メニューのClockにて調整パターンの右枠が表示領域の右端にくるよう調整します。



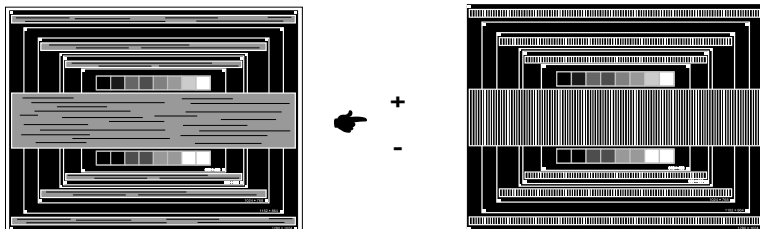
**補足**

Clockを調整中、調整パターンの左枠が表示領域の左端からずれてしまう場合は、1)と2)を交互に調整してください。

Clock調整は白黒一本おきパターンに注目し、縦縞状のノイズが無くなるよう調整するの一つの方法です。

H.Position, V.Position, Clockを調整中、画面が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。

白黒一本おきパターンに注目し、横縞状のノイズ、にじみ、ちらつきが最小限になるよう、調整メニューのFocusにて調整します。



**補足**

Focusを調整しても画面の一部分にひどくにじみやちらつきが残る場合、Clockが正確に調整されていない可能性があります。からもう一度調整を行ってください。それでもにじみやちらつきが残る場合、コンピュータのリフレッシュレートを低く(60Hz)設定し、から調整を行ってください。

Focusを調整中、水平ポジションがずれてしまう場合は、Focus調整を終えてからH.Positionにて調整してください。

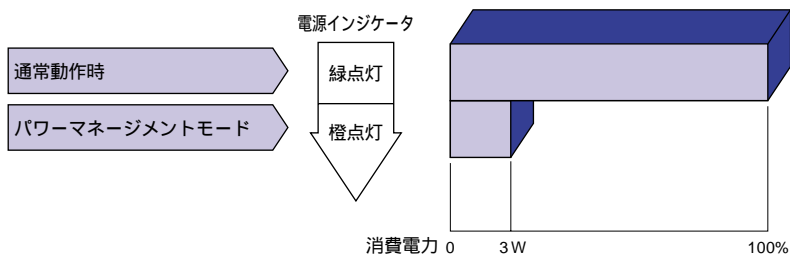
最後に目が疲れない程度の明るさ、色合いに調節し画面調整は完了です。お好みの壁紙に戻してください。

## パワーマネジメント機能

本製品のパワーマネジメント機能は、ENERGY STAR<sup>®</sup>、VESA DPMSそれぞれの省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能はVESA DPMSに対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

### パワーマネジメントモード

コンピュータからの水平同期信号/垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号がOFF状態になるとパワーマネジメントモード（消費電力 3W以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



### 補足

パワーマネジメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。

水平または垂直同期信号がOFFになっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネジメント機能が正常に動作しない場合があります。

## 自己診断表示機能

本製品は、自己診断表示機能を搭載しています。本製品またはコンピュータに異常が起き、映像が消えて電源インジケータが緑色または橙色で点灯している場合に、次の方法で自己診断をすることができます。

### 診断方法

- ACアダプタをモニタから取り外す。
- 信号ケーブルをコンピュータから取り外す。
- ACアダプタをモニタに取り付けて、モニタの電源をONにする。

### 診断結果

- R,G,B各色が切り替わりながら表示される場合  
モニタは正常です。コンピュータの状態を再度確認してください。
- R,G,B各色が表示されない場合  
モニタが故障している可能性があります。お買い上げの販売店またはイヤマサービスセンターにご相談ください。

### 3. 故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「2. 操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

#### 症状

#### チェックポイント

映像が出ない

(インジケータ点灯せず)

ACアダプタのケーブルが確実に接続されていますか？

電源コードが確実に接続されていますか？

電源スイッチが「ON」されていますか？

電源コンセントに電気がきていますか？ 別の機器で確認してください。

(インジケータ緑色) P.15 「自己診断表示機能」参照

ブルークリーンセーバーが作動中ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。

輝度およびコントラストが最小になっていませんか？

コンピュータの電源は入っていますか？

信号ケーブルが確実に接続されていますか？

コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

(インジケータ橙色) P.15 「自己診断表示機能」参照



パワーマネジメント状態ではありませんか？

マウスやキーボードを触ってみてください。

コンピュータの電源は入っていますか？

信号ケーブルが確実に接続されていますか？

コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

画面が乱れている



信号ケーブルが確実に接続されていますか？

コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

画面の位置が片寄っている



コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

画面が明るすぎる

／暗すぎる



コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

画面が揺れる



電源電圧は正常ですか？

タコ足配線はやめてください。

コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

## 4. クリーニング

**警告** 万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

**注意** 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

**補足** 液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

キャビネットや液晶パネルを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



- ・シンナー
- ・ベンジン
- ・研磨剤
- ・スプレークリーナー
- ・ワックス
- ・酸性、アルカリ性の溶剤

キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

**キャビネット** 柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

**液晶パネル** 定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。

## 5. アフターサービス

### 保証書 / 保証期間について

本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。

保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期限は本体お買い上げ日より3年間です。ただし、中古販売の製品については3年間の保証は適用されません。

また、液晶パネルおよび光源のバックライトの保証期限は1年間です。ただし、1年の保証期間内であっても輝度の低下や焼き付き等による経年劣化の場合は、保証の対象にはなりません。

### 修理サービス

「3. 故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店またはイヤーマサービスセンターへご連絡ください。

修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なお、この事由による修理は保証期間内であっても有料となります。

お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ずイヤーマサービスセンターまでご連絡ください。

本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)は、製造終了後5年間保有されています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店またはイヤーマサービスセンターにご相談ください。

### オプション部品

オプション部品をご注文の際にはP. 8の表に記載されている品名とパーツNo.で、販売店にご注文ください。

### リサイクル / 廃棄について

本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。本製品に使用している蛍光管には水銀が含まれていますので、本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

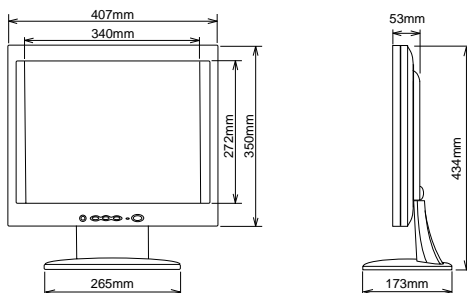
リサイクル/廃棄については、イヤーマサポートセンターへお問い合わせください。

## 6. 付録

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

### 一般仕様

|           |   |                           |
|-----------|---|---------------------------|
| 液晶<br>パネル | 駆動方式  | a-Si TFT アクティブマトリックス      |
|           | サイズ   | 対角：43.2cm / 17.0          |
|           | 画素ピッチ   | 水平 0.264mm × 垂直 0.264mm   |
|           | 輝度  | 230cd/m <sup>2</sup> (標準) |
|           | コントラスト比   | 350 : 1 (標準)              |
|           | 視野角   | 左右各70° (標準) 上下各60° (標準)   |
|           | 応答速度  | 25ms (黒 白 黒)              |
| 最大表示色     | 約1,620万色  |                           |
| 走査周波数     | 水平：24～80kHz 垂直：56～75Hz  |                           |
| ドットクロック   | 135MHz(最大)  |                           |
| 解像度       | 1280 × 1024(最大)   |                           |
| 信号入力コネクタ  | D-SUBミニ15ピンコネクタ   |                           |
| プラグ&プレイ機能 | VESA DDC1/2B™対応   |                           |
| 入力同期信号    | セパレート同期：TTL，正極性 / 負極性   |                           |
| 入力映像信号    | アナログ：0.7Vp-p(標準)，75Ω，正極性  |                           |
| 最大表示範囲    | 水平：337.9mm 垂直：270.3mm   |                           |
| 入力電源      | 付属ACアダプタ：AC100～240V 1.5A 50 / 60Hz (出力DC12V 5A)<br>モニタ本体：DC12V 3.5A       |                           |
| 消費電力      | 45W(最大)<br>パワーマネージメント時 3W(最大)   |                           |
| 外形寸法，重量   | 407(幅) × 434(高) × 173(奥行)mm，5.8kg   |                           |
| 角度調節範囲    | 上方向25° 下方向5°  |                           |
| 環境条件      | 動作時：温度 5～35<br>湿度 10～80%(結露なきこと)<br>保管時：温度 -20～60<br>湿度 5～85%(結露なきこと)     |                           |
| 適合規格      | TCO' 99, CE, TUV-GS/MPR (prEN50279)/ISO 13406-2,FCC-B,<br>UL/C-UL, VCCI-B |                           |



## 対応信号タイミング

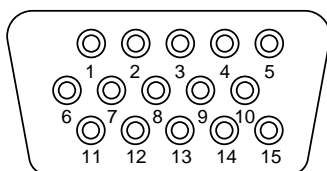
| ビデオモード           |                           | 水平周波数     | 垂直周波数      | ドットクロック   |
|------------------|---------------------------|-----------|------------|-----------|
| VESA             | VGA 640 × 480             | 31.469kHz | 59.940Hz   | 25.175MHz |
|                  |                           | 37.861kHz | 72.809Hz   | 31.500MHz |
|                  |                           | 37.500kHz | 75.000Hz   | 31.500MHz |
|                  | SVGA 800 × 600            | 35.156kHz | 56.250Hz   | 36.000MHz |
|                  |                           | 37.879kHz | 60.317Hz   | 40.000MHz |
|                  |                           | 48.077kHz | 72.188Hz   | 50.000MHz |
|                  |                           | 46.875kHz | 75.000Hz   | 49.500MHz |
|                  | XGA 1024 × 768            | 48.363kHz | 60.004Hz   | 65.000MHz |
|                  |                           | 56.476kHz | 70.069Hz   | 75.000MHz |
|                  |                           | 60.023kHz | 75.029Hz   | 78.750MHz |
| SXGA 1280 × 1024 | 63.981kHz                 | 60.020Hz  | 108.000MHz |           |
|                  | 79.976kHz                 | 75.025Hz  | 135.000MHz |           |
| VGA TEXT         | 640 × 400 <sup>*1,2</sup> | 31.469kHz | 70.087Hz   | 25.175MHz |
|                  | 720 × 400 <sup>*2</sup>   | 31.469kHz | 70.087Hz   | 28.322MHz |
| Macintosh        | 640 × 480                 | 35.000kHz | 66.667Hz   | 30.240MHz |
|                  | 832 × 624                 | 49.725kHz | 74.551Hz   | 57.283MHz |
| PC9801           | 640 × 400                 | 24.827kHz | 56.424Hz   | 21.053MHz |

補足 \*1 画像の上下方向のサイズはフルスクリーンになりません。

\*2 画像の縦横比が4 : 3でないため、上下方向に間のびした画像になります。

## 信号入力コネクタのピン配列

### D-SUBミニ15ピンコネクタ



D-SUB

| PIN | 入力信号   | PIN | 入力信号          |
|-----|--------|-----|---------------|
| 1   | 赤ビデオ   | 9   |               |
| 2   | 緑ビデオ   | 10  | 接地            |
| 3   | 青ビデオ   | 11  | 接地            |
| 4   |        | 12  | データライン(SDA)*  |
| 5   | DDC接地  | 13  | 水平同期          |
| 6   | 赤ビデオ接地 | 14  | 垂直同期          |
| 7   | 緑ビデオ接地 | 15  | クロックライン(SCL)* |
| 8   | 青ビデオ接地 |     |               |

\*VESA DDC 規格に準拠

## 保証条件

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容にもとづきイヤマサービスセンターが無料修理します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げの販売店またはイヤマサービスセンターに製品と保証書をご提示の上依頼してください。  
尚、製品を発送される場合の送料はお客様ご負担となりますのでご了承ください。
3. 本製品の故障やその使用によって生じた直接または間接の損害について、当社はその責任を負わないものとしします。
4. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
  - (1) 保証書をご提示されないとき。
  - (2) 本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
  - (3) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧による故障または損害。
  - (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取り扱いが不適当なため生じた故障または損害。
  - (5) 取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取り扱いによって生じた故障または損害。
5. 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店またはイヤマサービスセンターまでお問い合わせください。